

勤務実績一括確定の動作について

- 「日次処理」メニューの実績確定との違い

【1】確定時の動き

	操作単位	再計算（即時）			データロック	
		勤務単位	日次実績	月次実績	実績修正	月次再計算
実績確定 （日次処理）	勤務実績			×	ロック有り （修正不可）	ロック無し （再計算対象）
勤務実績一括確定 （開始）	月度				ロック有り （修正不可）	ロック無し （再計算対象）
勤務実績一括確定 （終了）	月度	×	×	×	ロック有り （修正不可）	ロック有り （再計算対象外）

実績確定（日次処理）：対象の勤務実績データを再計算した上で修正不可とします。

確定済みの勤務実績データは確定を解除することで再度修正できます。

勤務実績一括確定(終了)されたデータは、日次処理では確定を解除出来ません。

勤務実績一括確定（開始）：対象月度の勤務実績データ、日次実績データ、月次実績データを再計算した上で修正不可となります。

確定済みの勤務実績データは確定を解除することで再度修正できます。

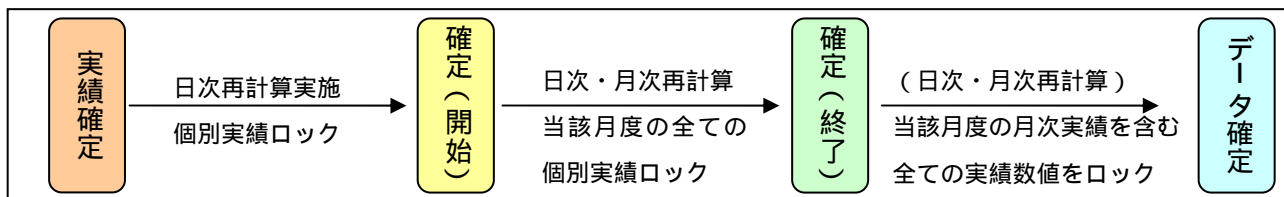
勤務実績一括確定(終了)されたデータは、一括確定(開始)を解除出来ません。

勤務実績一括確定（終了）：対象月度の勤務実績データ、日次実績データ、月次実績データは修正不可となり、定時バッチによる月次集計、労働条件変更時の再計算の対象からも外れますので、当該月度の月次実績データは確定され、値が変わることはありません。

本操作後に実績を追加(通常の打刻を含む)しても月次実績には追加されません。

(注) 一括確定（開始）時に再計算しているの通常は再計算を行いませんが、一括確定（開始）後に実績を追加したり、一部の実績を確定解除して修正していた場合は再計算が必要な日次実績と月次実績を再計算してからデータをロックします。

《実績確定作業の一般的な流れ》



勤務先管理者が『承認』を行う場合は、実績確定の前になります。

## 【2】勤務実績一括確定時の注意

勤務実績一括確定（開始）の実施によって月次実績はロックされないので、実績の追加等があった場合は夜間の定時バッチによって月次実績が再計算され(計算対象期間だった場合 ) 勤務実績一括確定(開始)実施直後の数値と異なる場合があります。

定時バッチによる月次計算は、その月次の期間+6日間行われます。

勤務実績一括確定（終了）の実施によって月次実績はロックされるので、実績の追加等があった場合でも夜間の定時バッチによって月次実績は再計算されません。

これは、計算対象期間だった場合でも同様です。

追加分の実績を月次実績に反映させたい場合は、勤務実績一括確定（終了）を一度解除して下さい。

勤務実績一括確定（終了）の解除時にも必要な場合（追加の実績等がある場合は）、自動的に月次実績の再計算を行います。

ロックする必要があれば、再度、勤務実績一括確定（終了）を実施して下さい。この場合はデータロックのみ行われます。

労働条件の値を変更した場合（例：深夜開始時間を変更）は、当月度分は即時に、前月度以前（労働条件の適用期間内まで）については夜間の定時バッチで変更した条件に従い月次実績を再計算していますが、勤務実績一括確定（終了）が行われている場合は計算対象外になります。予め勤務実績一括確定（終了）を解除しておくか、労働条件を変更した翌日の日中帯に解除し、再度、勤務実績一括確定（終了）を実施して下さい。

逆に労働条件変更に伴う再計算の対象外にしたい場合は、勤務実績一括確定（終了）でデータをロックしておいて下さい。